2020年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- Ⅱ マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- Ⅲ スポーツを通じたインクルーシブな社会(共生社会)の構築
- Ⅰ Ⅳ 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- ▼ スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都市 】

学校名【 京都市立下京中学校 】

1実践テーマ	Ⅰ · Ⅱ · Ⅲ · Ⅳ · Ⅴ(複数選択可)
2実施対象者	2年 4名
	3年 6名
(学年·人数)	
3展開の形式	(1)学校における活動
	① 教科名(
	② 行事名()
	③ その他(部活動)
	(2) 地域における活動
	① イベント名()
	② その他 ()
4 目 標	茶道を介した留学生との交流体験を通して、日本の伝統と文化の
(ねらい)	本質を学びとる。
	留学生に茶道について説明をすることを通して、広い視野や豊か
	な感性を育む。 ●事前学習
り、球型内台	●争助子台 留学生を招いた茶道体験を通して、日本の伝統文化を伝えるた
	めには、どのような方法が良いかを考える。
	・茶道についての説明
	• お点前の見学・体験
	• プレゼントの作成
	●ALT を相手にしてリハーサル
	・リハーサル後、修正

●当日





- ・はじめの挨拶、自己紹介
- ・お点前の見学 代表生徒が、お点前を披露。 茶道について、茶道具について、など生徒による説明
- お点前の体験 留学生がお茶を点て、服した。お茶の点て方、服し方については生徒が説明。
- おわりの挨拶,プレゼント贈呈





●事後学習

感想を交流し、振り返りをした。

6 主な成果

留学生に伝えるという活動をすることによって、伝えるために、日頃の活動で行っている所作に込められている様々な礼儀作法や相手への配慮などについての意味について知ることができ、日本の伝統文化についての理解を深めることができた。

留学生との交流体験の中で、お互いに感想を交流したことによって、他の文化の方の考え方を知ることができた。そうすることによって、視野を広げることができ、感性を豊かにすることができた。

7実践において 工夫した点 (事業の特色)

伝統に育まれた文化を今に引継ぎ、京都らしい風情とたたずまいを色濃く残す地域に下京中学校はある。そして、校内には茶道裏千家監修の本格的な茶室が設けられており、伝統文化部という部活動がある。そのため、実践においては、伝統文化に触れるだけでなく、留学生との交流をすることによって、伝統文化について、深く学ぶことができることを目指した。

8主な課題等

下京中学校では、茶道と華道について外部講師を招いて活動を 行っている。伝統文化については、その道に精通している方に 指導をしていただくことで、深く理解することができる。指導 者を確保することが課題としてある。

9来年度以降の実施予定

この事業を活用することによって、生徒は伝統文化の理解を深めることができている。また、伝統文化について留学生に発信することによって、文化の担い手としての自覚を高めることができている。来年度以降も活動を継続していく。